

(写)

陳情第249号

子ども医療費助成制度の所得制限撤廃に関する陳情

令和7年9月18日 受理
令和7年10月30日 付託 厚生委員会

提出者
札幌市北区
田中 真弓

(要 旨)

子ども医療費助成制度の所得制限を撤廃してください。

(理 由)

札幌市の子ども医療費助成制度には、現在も所得制限が設けられています。

しかし、これは子ども本人には一切責任のない「家庭の所得」によって医療の受けやすさに差が生まれる仕組みであり、真に公平な制度とは言えません。

実際に「受診を控える」「経済的にためらう」といった声もあり、子どもの健やかな成長を阻害しかねない深刻な課題です。

全国的に見ても、すでに約7割の自治体が子ども医療費助成の所得制限を撤廃しており、「すべての子どもを等しく支える」ことが標準になりつつあります。

さらに、北海道内においても過半数以上の自治体が制限を撤廃しており、道内でも札幌市の対応は遅れをとっている状況です。

また、全国20の政令指定都市のうち所得制限が残っているのは札幌市、広島市、相模原市のみとなっており、札幌市が引き続き制限を残すことは「子育てに厳しい都市」という印象を与え、子育て世代の流出にもつながりかねません。

子どもは未来の社会を支える存在です。その健やかな成長を、親の所得で区切ることは許されません。

すべての子どもが平等に医療を受けられるよう、札幌市においても一刻も早く所得制限を撤廃すべきです。

つきましては、札幌市議会におかれまして、子ども医療費助成制度の所得制限撤廃を速やかに実現していただきたく、ここに陳情いたします。